

## 1. 今後取り組むべき重点項目・・・・・・・・

これまで「北九州市健康づくり推進プラン」に基づき取り組んできた様々な施策の成果と課題、そして、各種統計データや健康づくり実態調査等から明らかになった本市の現状を踏まえ、本プランでは次の項目について重点的に取り組み、健康寿命の延伸を図っていきます。

### (1) データに基づく生活習慣病予防・重症化予防の強化

特定健診やがん検診、歯科検診の実施及び受診促進の充実・強化に努めるとともに、健診・医療・介護のデータを活用して、糖尿病や慢性腎臓病などの、生活習慣病を発症する危険性の高い者などへの生活習慣の改善や服薬管理などに関する個別指導など、保健指導を実施し、重症化予防の強化を図ります。

また、健康な生活習慣の維持・増進を目的に、健康知識の普及啓発や、自発的な健康学習の支援を通じ、生活習慣病やがん予防の理解促進及び行動変容を図っていきます。

### (2) 多様な背景の市民に対応した健康格差の縮小を目指した健康づくりの推進

子どもから働く世代・高齢者まで、ライフステージを通じ、世代間ごとの健康課題や様々な要因により生じる健康格差に着目し、多様な背景の市民に対応した健康づくりを推進します。特に、喫煙・飲酒・肥満等、健康課題が集中する働く世代や次世代を担う子どもへのアプローチを図っていきます。

また、年齢を重ねても、できるだけ長く自立した活力ある社会生活を営むことができるように、高齢者の健康づくりや生きがいづくり、社会参加を推進します。

### (3) こころの健康づくりの推進

学校、職場、家庭など、社会生活を送る様々な場面で生じる不安やストレスに対処し、生き抜く力を育むための教育や知識の普及を図り、すべての市民が主役となる「こころの健康づくり」の活動を支援します。

また、平成 29 年 5 月に策定した「北九州市自殺対策計画」とも連動し、強い不安やストレスからうつやアルコール問題に陥る等の様々な生きづらさを抱える人々に対する相談支援体制の充実を図ります。

#### (4) 個人の健康づくりを支える環境の整備

健康づくりは本来、個人の健康観やライフスタイルに応じて、個人の責任で取り組むべきものですが、超高齢社会においても活力ある地域社会を実現するためには、健康づくりを社会全体の課題と捉える必要があります。

そのため、今後は、企業やNPO、地域のボランティア、保険者団体、その他関係団体と行政との連携、協働の更なる充実・強化を図り、いわば、「オール北九州」により、市民の健康づくりの機運をさらに高め、支える仕組みづくりを推進します。

## 2. 基本理念及び健康づくりスローガンと計画の構成

本プランを推進するにあたり、「基本理念」及び「健康づくりスローガン」を掲げます。

### (1) 基本理念

次世代を担う子どもや若者をはじめとするすべての市民が、社会とのつながりの中で、健やかで心豊かに生活できる幸福な社会の実現を目指します。その実現にあたっては、超高齢社会に対応した持続可能な社会を確保できるよう、市民の健康寿命の延伸や医療費等の適正化に努めます。そのために、地域、行政、企業などのあらゆる主体が一体となって健康づくりに取り組み、市民一人ひとりの自律的・主体的な健康づくり活動を支援する健康都市を目指します。

### (2) 健康づくりスローガン

「オール北九州で健康（幸）寿命を延伸する」

—元気でGO!GO! プラス2歳へ スクラムトライ!—

### (3) 計画の構成

「基本理念」のもとに3つの「基本目標」を掲げ、それぞれの基本目標を達成すべく、「施策の方向」と「基本施策」を定めます。

### 3. 計画の体系図

